

【第2次かほく市総合計画（素案）に対するパブリックコメントでの意見に対する回答】

実施時期 平成28年1月4日（月）～1月18日（月）2週間
 募集要領 かほく市広報紙平成28年1月号、かほく市ホームページで周知
 意見者 3名（うち男性2名、女性1名）

年齢・性別	No	意見概要	意見に対する回答
62歳男性	1	七塚・高松地域で利用できる砂を耕作放棄地に搬送し、宅地や工業用地として整備できないか。	基本計画4-5「定住促進に向けた住宅・宅地の環境の充実」の中で明記していますので、今後とも整備について検討していきます。
	2	若者世代に対する安価な宅地の提供が必要である。	同上のとおり。
59歳女性	1	海岸沿いの保全と保安林の手入れをお願いしたい。	基本構想の「まちづくりの視点」、「将来都市構造」の中でも明記しており、引き続き、海岸の保全、保安林の手入れについては配慮していきたいと考えております。
	2	かほく市は子育て支援制度が充実した住みやすい町であることを、JR駅や道の駅などを利用してもっとアピールすべきである。	基本計画4-5「具体的な取り組み」のシティブロモーションによるPR活動でさらに進めていきます。
	3	外国人に対して、市役所の窓口（市民課）に外国語で対応できる人を配置すべき。	基本計画7-1「行政運営の効率化と市民参画の推進」の中で掲げていますが、窓口業務については外国語の会話をできる職員がいるので、新たな増員は現時点で考慮していません。
69歳男性	1	公的文化財の保管や、私的文化財の有料管理を行う「文化財保護管理センター」の建設を行ってはどうか。	基本計画2-4「郷土の自然・歴史・文化の継承と芸術文化活動の推進」で基本的事項は掲げていますが、私的文化財の管理については、慎重に検討していきます。
	2	西田幾多郎記念館～県立看護大学～高松病院～砂丘地農業試験場までを、「心と精神」をテーマとした連携を図ってはどうか。	基本計画2-3「生涯にわたって学ぶ意欲の向上」で基本的事項は掲げていますが、「心と精神」の活動については既に実施しており、さらなる連携については、今後の状況を把握しながら検討していきます。

年齢・性別	No	意見概要	意見に対する回答
69歳男性	3	白尾ICをフル規格化し利用しやすくするべき。	基本構想の「将来都市構造」で、白尾ICは重要なアクセスポイントで位置付けしていますが、フルインター規格化については交通量や周辺開発動向を踏まえながら、県へ要望していきたいと考えております。
	4	にぎわい創出エリアにおいて、世界のマスコットキャラクターミュージアムを創設し、ルビーロマンやにゃんたろうなどによるPRも行ってはどうか。	基本計画4-5「具体的な取り組み」の中で、シティプロモーションの一環としてルビーロマンやにゃんたろうのPRを進めていきますが、キャラクターミュージアムの創設については、その内容、世界の状況などを把握し、その整備の必要性を含め、今後検討していきたいと考えております。
	5	道の駅において、心の落ち着くハーブが楽しめるレストラン喫茶をつくってはどうか。	基本計画5-3「地域資源を活かした観光の振興」で、道の駅の観光拠点化を掲げており、現在、夕陽カフェをメインに事業展開を図っています。ハーブを楽しむレストランについては、今後の事業展開の参考意見とさせていただきます。
	6	砂丘地農業試験場において、グリーンツーリズムの総合案内や家庭菜園の営農指導、栽培体験、ハーブのモデル園などを実施できないか。	基本計画5-1「農業の生産性と付加価値の向上」で基本的方針を掲げておりますが、今後のかほく市や砂丘地農業試験場を取り組む動向を把握しながら検討研究していきます。
	7	西田幾多郎記念館において、気軽に精神修養（体験）できる座禅教室を開催しては。	基本計画2-3「生涯にわたって学ぶ意欲の向上」の中で掲げておりますが、すでに西田幾多郎記念哲学館で座禅教室を実施しており、今後、参加者の意見を確認しながら事業内容を検討していきます。
	8	親自然健康ゾーンにおいて、グリーンツーリズムを展開してはどうか。	基本構想の「将来都市構造」で、親自然健康ゾーンとして位置付けているので、このゾーンの実施計画を立案するときの1つの参考意見として、グリーンツーリズムを活用できるか検討していきます。